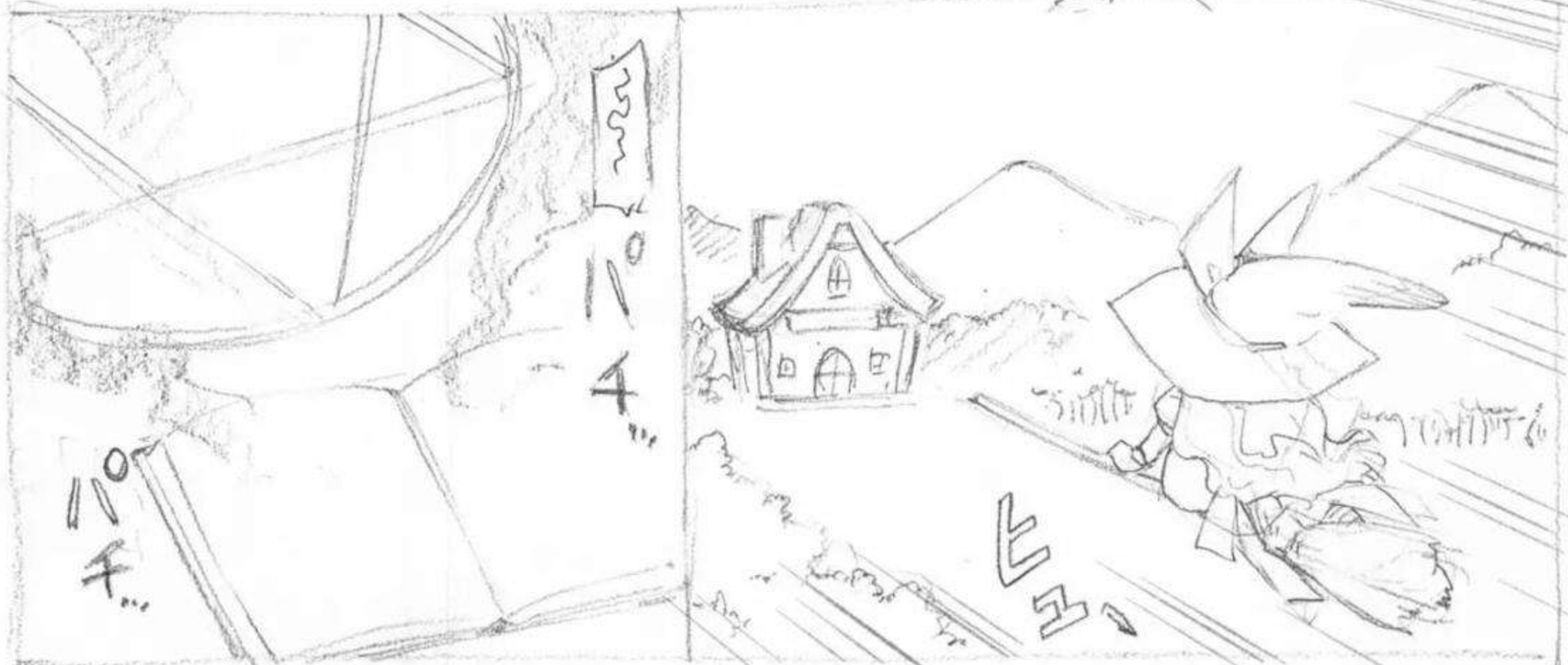


こらっ
魔理沙っ

もう!ちゃんと
返しなさいよっ

そんじゃこの本、
ちよつと借りてくぜ





おゝなんか
出てきたぞ
?

俺を呼び出した
のはお前か…?



まあまあ、
お茶でもどうぞ

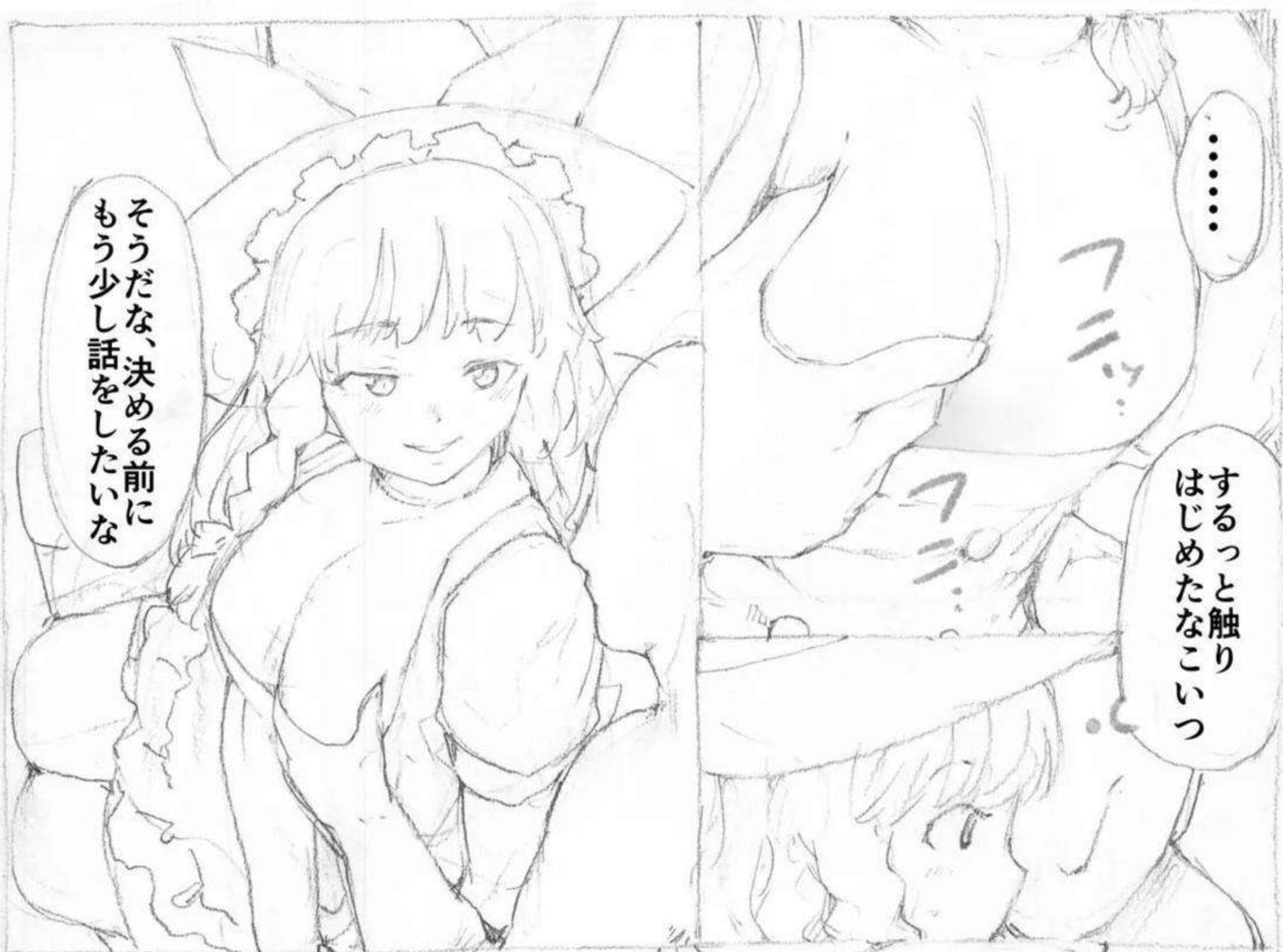


お前、
魔族か？

なんだ、知らずに
呼び出したのか
…ああ、そうだ

…





そうだな、決める前に
もう少し話をしたいな

するっと触り
はじめたなこいつ



んっ...

ふはっ...

んう...

さあ、どうする？
契約するか...？

契約の代償は
なんだ？
私は何を支払う？

性の昂りだ、
俺はそれを
糧にする

ほーん、それで研究が
捗るなら安いものだな

ペロ

ペロ

おお？

ビーン

クル
クル
クル

はあんっ、
んっ…♡

んあっ





ああっはあっ

おおっ...!!
すごい締付け!

△



やばっ、すぐ
イッちまう...

...すごい...
こいつの...
固いのが暴れてる



いきそう...
イクッイクッ!
ンンンンッ!!

ビクッ!

11
4
1310

ほれほれつ

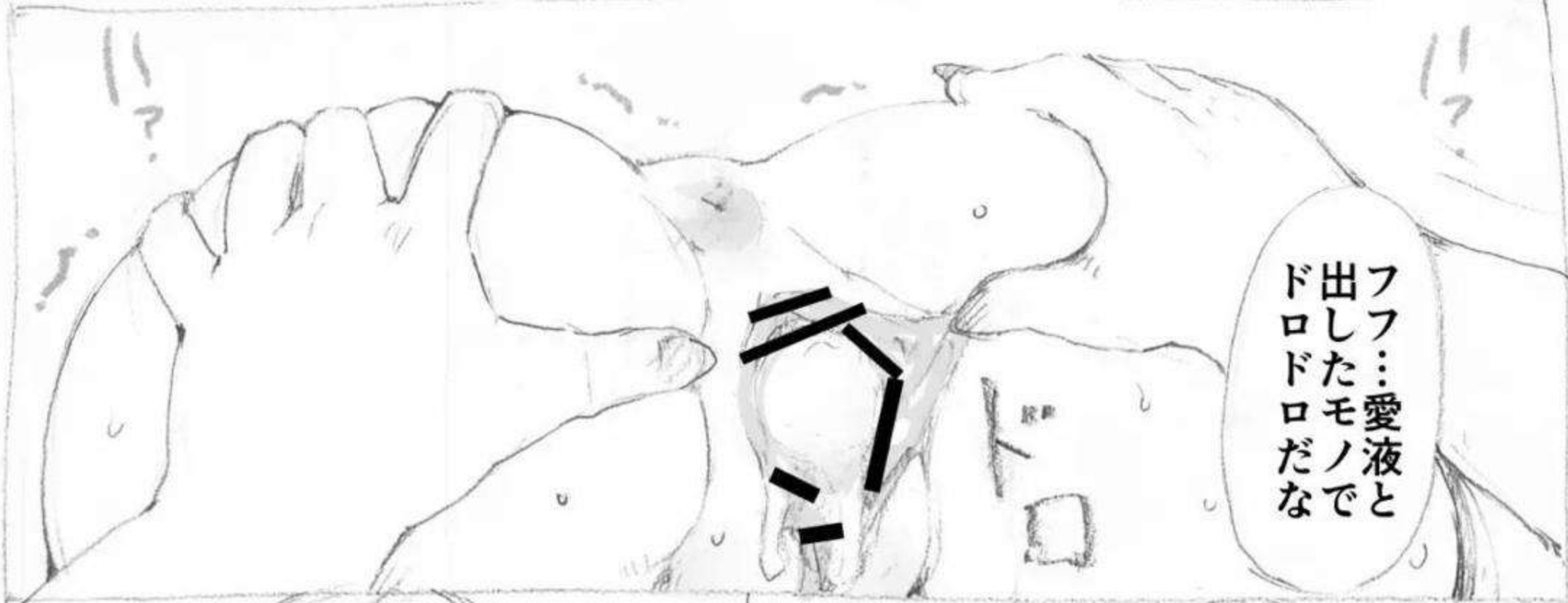
良すぎるっ

よーし濃厚なやつを
くれてやる！
受け取れ！

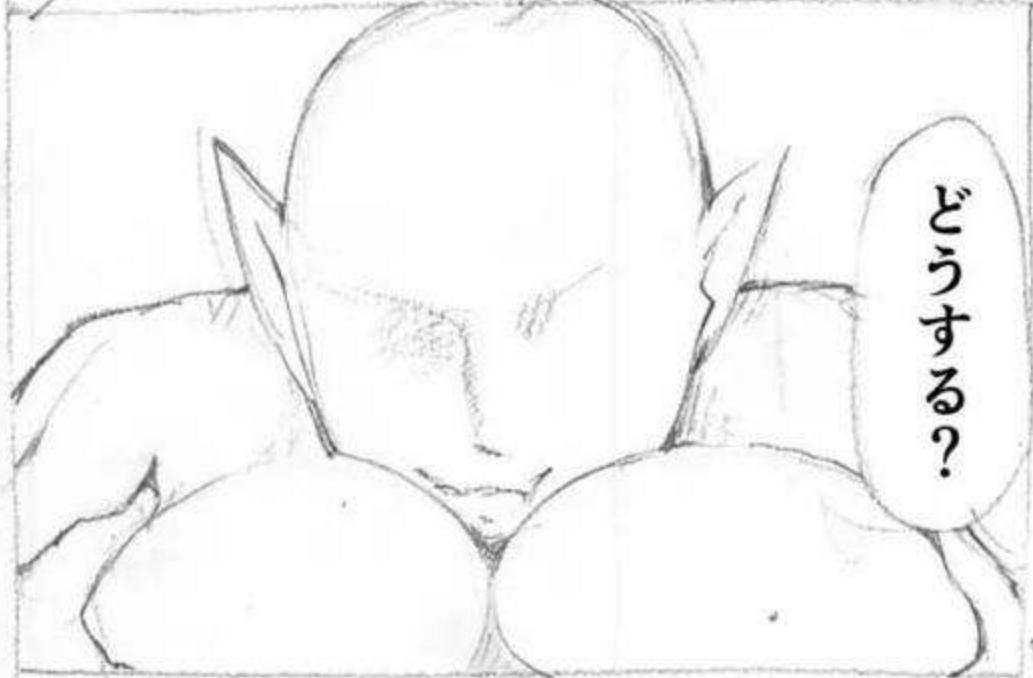
ひ
い
っ
!

ア
ア
ー
っ
！

7
11
11
11



フフ：愛液と
出したモノで
ドロドロだな



どうする？



だが、契約に
必要な分には
まだ「ω」といった
ところ…

…



勿論やるさ

まだやり
足らない
だろう？

やばい、
イキっぱなしで
頭真っ白…

はあ…はあ…



はあっはあっ
感じるっ…
中でえぐってる…

すっかり
ドロドロに
なったな

はあっ、おおっ
あっあっ！

はあっ
ああっ…っ！

それっ更に
一発！

はあ…はあ…

あー
はー

ドロッ

コッ

コッ

ビッ
ズッ

グッ
グッ

ハッ
ハッ

あー
あー

精液でいっぱいの
子宮に更に
注いでやるぞ！

奥までたっぷり
染め上げて
やるぞっ



お試しとはいえ
淫魔の
言葉は嘘でなく、
研究は捗った

だが体は彼との情事は
魔理沙の体に
消えることのない熱を
灯していた

近いうちにまた淫魔を
呼ぶことになる
魔理沙は確信していた

じゃあ